

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	一般レストラン（経営者）	・Go To Eatキャンペーンや市の補助事業が始まり、年末年始とも重なるので期待したい。
	◎	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、人流が大分出てきている。自分自身も出張し、他県の動向や人のデータ等、いろいろと動いてきていると感じている。
	○	一般小売店〔青果〕（店長）	・緊急事態宣言が解除されて、小さな飲食店等は少しずつ良くなっているが、ホテルや大型宴会場を抱えているようなところには、まだ大きな結婚式や宴会等は入ってこない。このまま、新型コロナウイルスの新規感染者数がかなり抑えられていけば、宴会等も少しずつ増えていくのではないかと。
	○	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者の減少やワクチン接種率の進展に伴い、外出への安心感が醸成されつつある。冬に向けて感染再拡大の懸念はあるものの、個人消費は徐々に回復すると予想される。
	○	百貨店（店長）	・年末年始に向けて、来客数と売上の回復が、徐々に連動していくと想定している。
	○	百貨店（店長）	・緊急事態宣言も解除されたので、年末に向けての期待を込めて、やや良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・来月になると大きなイベントがあるので、必ず売上は伸びる。
	○	コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言が解除されて、来客数が増えたことや、客単価が年末年始に向かって上昇していくと予想し、やや良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・10月中旬から交通量の増加がみられる。平日はトラックが動き出したような感じがあり、土日は行楽に向かう車と見受けられる乗用車が増えている。このまま新型コロナウイルスが終息していけば、前年を大きく上回るのではないかと期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、行楽立地の店舗のため、来客数は増える。
	○	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスが今より落ち着き、人の流れが出てきていることを期待する。
	○	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスも落ち着いてきたので、人の流れが良くなる。
	○	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者次第なので先が読めないが、今の状況から、良くなる兆しはある。
	○	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数も減ってきたので、動きが出そうである。
	○	乗用車販売店（経営者）	・大規模小売店は、かなり混雑がみられており、最近の客の入込状況は良くなっている。新型コロナウイルス感染拡大第6波が来なければ、今までの反動で活気が出てくるのではないかと。
	○	自動車備品販売店（経営者）	・今まで新型コロナウイルス禍で委縮や自粛していたものが、ある程度解放されるので、購買や人の動き等にプラスに作用していくのではないかと。経済的には増えていき、活発になる。
	○	住関連専門店（仕入担当）	・現状、土日の来客数は段階的に増えてきており、増加幅も年末に向けて高まりを期待できる。新型コロナウイルスの感染再拡大を防ぐための防衛行動を取りながら、人の動きは活発になると思われる。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者の急激な減少と、海外も含めて明るい兆しのニュースが多く、精神的な安どの声も多く聞かれている。客の健康管理意識も高まり、消毒、検温も通例化したことから、体調不良者の外出は抑制されていると感じる。
○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・来月以降の予約問合せも徐々に増えてきているので、期待はしている。	
○	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、景気刺激策の実施により、レストラン部門も年末年始の利用に弾みがつくと期待している。少人数グループの取り込みなど、Withコロナの誘因策が大切と考えている。	

○	都市型ホテル（支配人）	・このままワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの感染拡大第6波が小さな波で収まることを願って、希望的観測ではあるが、良くなる。
○	都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言が解除となり、新型コロナウイルス新規感染者数も落ち着いている。宿泊者数、レストランの来客数も前年比100%を超えている。宴会は、1件当たりの人数は少ないものの、件数が急に伸びており、良い兆しが見えてきている。
○	都市型ホテル（総支配人）	・9月を底に盛り返してきてはいる。ただし、団体予約や宴会利用は見込めないで、あくまでも個人利用がどこまで回復するのかによって、大きく左右される。
○	旅行代理店（経営者）	・今後、新型コロナウイルスの感染再拡大がなければ、秋の紅葉シーズン、年末年始の旅行者が見込める。
○	旅行代理店（所長）	・今冬の新型コロナウイルスの感染再拡大や、取りざたされているインフルエンザの流行を抑えられることを前提に、今の流れが継続し、景気上昇につながることを期待している。
○	旅行代理店（従業員）	・平時にはまだ及ばないが、少しずつ増えているので期待している。
○	通信会社（営業担当）	・現在の傾向が続けば、更なる景気回復も期待できるが、年末の新型コロナウイルスの感染状況に不安を感じている。
○	通信会社（局長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、新規感染者数も減少していること等が影響して、近隣の観光地に人が戻ってきている。数か月前には全く見なかった観光バスを見かけるようになっていく。
○	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加せず、前年末のように緊急事態宣言が発出されなければ、来園者数の増加が見込まれるため、やや良くなる。
○	ゴルフ練習場（経営者）	・今まで我慢していたショッピングや行楽に明るい兆しが出てきている。ただし、ここにきてあらゆる物の値段が上昇傾向になっているため、消費を冷やしかねない。
○	競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大第4波から第5波になるまでの間は、徐々に来場者が増えてきていたことから、今後の新型コロナウイルス感染者数の推移によるが、少しずつでも良い方向に向いてもらいたい。
○	設計事務所（所長）	・良くなると思うが、新型コロナウイルスの感染拡大第6波が来るのかどうかで、また後退する可能性もある。衆議院議員選挙後の政治の動きにも注目している。
○	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・日常が戻りつつあるため、今まで見送りとなっていた事案が動き出す可能性はある。各社の業績の回復次第だが、今後は少しずつ受注案件が増えてくる。
□	商店街（代表者）	・客の購買意欲は徐々に前向きになってきている。年末年始に向けて、新型コロナウイルスの感染拡大第6波への懸念が残る。
□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・時期的に紅葉狩りとか観光客は増えていきそうだが、やはりイベントがないと客寄せできないので、余り変わらない。
□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除されて、飲食店並びに付随するところは良くなると思うが、当店のよう小売店は以前と変わらない。
□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・緊急事態宣言が全面解除され、新型コロナウイルス新規感染者数が劇的に減少し始めた10月中旬から、急激に客足が戻っている。特に、修学旅行や遠足等の学生団体旅行が一気に実施され、一般団体旅行も復活し、明るい兆しが至るところでみられる。バスガイドや問屋の外商との話では、「前年のGo Toのように急に行動範囲が広がり、気が緩んだ状態で大いに動くと、また前年のように年末に新型コロナウイルスの感染が急拡大し、年始に緊急事態宣言発出があるのではないかと」危惧する声も聞く。ただし、現状は有り難いことに大変忙しく、目の前の客に対応することで精一杯である。また、雇用調整助成金の関係で勤労意欲が失われており、観光地は深刻な人手不足である。助成方法の再考を求める。
□	スーパー（商品部担当）	・緊急事態宣言の解除、新型コロナウイルス新規感染者の減少が続いている状況で、人の動きも多くなっているが、生活スタイルの変化はみえない。地域クーポンや市町村限定プレミアム付商品券等、一時的に数値が上がる可能性はあるが、長くは続かない。

□	衣料品専門店（統括）	・新型コロナウイルスが早く終息してくれることが非常に望まれる。前の状態に早く戻って、イベント、祭礼行事が復活し、経済の発展につながっていくのではないかと。今年は、「早く祭りが復活してほしい」という来店客が多くみられている。
□	衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響も、客の流れが止まっている大きな要素ではあるが、今回そこに上乗せしたような衆議院議員選挙である。選挙の時は、客がほとんど街に出てこないで、ダブルパンチというか、もっといろいろな要素が絡んでいて、とんでもない負のスパイラルに陥ったようである。改善の見通しが立つかどうかもみえない。なんと云ったらよいか分からない。
□	乗用車販売店（販売担当）	・自動車販売店だが、受注しても生産が遅れているために納車ができないので、断られることもある。客もなかなか買ってくれない。
□	乗用車販売店（販売担当）	・緊急事態宣言が解除となっても、すぐに客が戻るという保証はない。客が安定した収入を得られるようになってからでないと、当社の扱う輸入車、国産車を含めた修理、販売関係の客は来てくれないので、2～3か月先が良くなることはない。
□	住関連専門店（店長）	・3か月先はまだ不透明で分からないが、小売業全体ではここ半年、減収減益が続いているので、極端に良くなることはない。
□	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・身近な客の動きは少しずつ出てきているが、販売商材確保が難しくなっていて、見直しを図らざるを得ない状況である。メーカーが余りにも海外生産にシフトしてしまったことが原因で、人も物もスムーズに流れなくなっている。全体的には余り変わらない。
□	一般レストラン（経営者）	・冬になり新型コロナウイルスだけではなく、他の感染症も流行する時期なので、警戒心も高まるのではないかと。
□	観光型ホテル（経営者）	・データや過去の事例からも明白であるが、冬場は新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等、様々な感染症り患者が増加する。1月以降は、前年から今年初頭に起きたことが繰り返されるかみている。現状の流れのままなのか、緊急事態宣言の再発出なのかは分からないが、非常に警戒している。
□	タクシー（経営者）	・夜の動きが悪いので、この先も良くない。
□	通信会社（経営者）	・急激な改善は有り得ない。10月になっても、廃業する企業や飲食店も後をたたない。
□	通信会社（総務担当）	・メーカーが年内の生産目標を引き下げる見込みだと伝えられており、商材不足は年内に解消しないと思われる。
□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・地方では、人手不足による人件費高騰で2重苦となっており、事業者は雇用を維持するのが精一杯である。
□	設計事務所（所長）	・企業の忘新年会の自粛等、いろいろな行事が平時の状態に戻らないと、景気回復は難しい。
▲	家電量販店（営業担当）	・冬季の北京オリンピックに向けて映像関連の強化をしていく。暖房器具の品ぞろえの見直しで、チャンスロスがないように取り組み、消毒関連の取組も強化していく予定である。
▲	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注残が少なくなっており、今後についても注文残がない状況が続いている。
▲	住宅販売会社（経営者）	・原油価格高騰で全体的に物価が高くなって、コスト高になりつつあり、経営が圧迫されている状況で、景気は悪くなる一方である。
×	家電量販店（店員）	・可処分所得と成り得るような現物支給や給付金のような物がないと、消費マインドが出てこない。
×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス禍も2年弱となっており、もう体力が持たない。新しい施策を打ち出す余裕もない。終えんを待っている感じである。
×	タクシー（役員）	・新型コロナウイルス対策は不公平感があり過ぎて、今後税金を負担したくない。

	×	通信会社（経営者）	・現状はやや忙しいが、それは緊急事態宣言の影響で、8～9月頃の仕事が先延ばしになっていただけである。むしろ、半導体不足問題で様々な機器の入荷時期が未定で、物が売れない。さらに燃料価格高騰で、掛かる経費は増す一方である。米国の利上げはこれからで、産油国の原油増産が進まないと原油高から波及する物価高騰で、せつかく新型コロナウイルスが落ち着いてきても、景気は腰折れ状態になると予想する。
	×	美容室（経営者）	・原油価格急騰と円安の影響で、ガソリン、電気料金、食品等、国内物価が上昇し、インフレが話題に上がっている。日銀の異常な金融緩和も出口が見えてくるのだろうか。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス禍が落ち着いてきて、今まで動けなかった人たちが動くようになり、少し景気が良くなる。
	○	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・例年よりも契約、売上は増加しているが、衆議院議員選挙の結果が心配である。
	○	不動産業（経営者）	・今後、新型コロナウイルスの新規感染者減少に伴って、海外からの留学生や研修生等が入居し始めたり、人流が戻れば、物件空室率も下がり、それに伴う業務が増えてくるのではないかと期待している。
	○	経営コンサルタント	・いわゆる新型コロナウイルス感染拡大第6波を懸念する向きもあるが、全体としては個人や企業活動の活発化を止められない状況が強まっている。それだけ地域経済は盛り上がってくる。
	○	司法書士	・2～3週間前から、街中が少しにぎやかになってきた感じで、道路を歩く人もマスクを外している人が多くなっている。下請、孫請企業が多い地域だが、そうした友人たちも少し忙しくなってきたと言っているので、多少は期待してみたい。
	○	社会保険労務士	・今のところ、年末の荷動きはキャンセルが出なければ良さそうである。
	□	化学工業（経営者）	・価格転嫁次第ともいえるが、それほど需要が強くないので、良くなる予想はしにくい。
	□	金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者が少なくなって、良くなったように思うが、またいつ感染状況が悪くなるか分からないので、皆気を付けている。先のことは分からず、不安である。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車のグローバルサプライチェーン問題は、簡単に解消されない状況である。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・この2～3か月は大分景気が良くなってきた感じがする。ただし、今後もこの調子でいくのか先のことは分からない。変わらない状況でいってほしい。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・まだしばらくは、新型コロナウイルスの影響が残ると考える。
	□	輸送業（営業担当）	・年末年始に向かって寒さも厳しくなるので、冬物家電、暖房器具、ヒーター、エアコン等の物量が増える予定である。しかし、全体的に関東に向かう輸送便が少なく、車両確保が厳しくなりそうで、運賃高騰になり、燃料価格高騰も続きそうなので、利益自体は薄くなりそうである。
	□	広告代理店（営業担当）	・まだ慎重さが目立ち、飲食店、ホテル等からは大きな動きがみえてこない。
	□	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・取引先に動きはみられるものの、まだ様子見が続く。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・注文があっても、部品と材料がないので物が作れない状況になる。全般的な話になるので、かなり状況は悪化する。
	▲	建設業（総務担当）	・この時期なのに工事量が少ないと感じている。
	▲	不動産業（管理担当）	・ここ2～3か月で、立て続けにテナントが退去することになったので、売上減少が見込まれる。新型コロナウイルスの影響による減収減益を少しでも抑えるために、店舗や事務所を統合するなどの理由による契約解除が多い。
×	建設業（開発担当）	・今期公共工事は前年比10%減と厳しい状況で、今後の発注を神頼みしている。月末に衆議院議員選挙があるが、安定した政権を期待している一方で、新しい風を運んでくれる政治家をも期待している。	
雇用 関係	◎	—	—

関連 (北関東)	○	人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響による規制の緩和で、飲食関係を中心に伸びていく。年末商戦等における人材確保や販売促進でも、やや良くなる。年末は、建設、道路関係工事、住宅の一部改修等も増えていく。
	○	人材派遣会社（管理担当）	・自動車関連工場の操業停止が終了し、製造が増加するため、良くなる。
	○	職業安定所（職員）	・10月から飲食店も営業再開し、飲食店からの受注が増加していることから、関連する卸売業でも求人募集の再開を検討している。
	○	学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルスの悪影響が減少し、経済活動が活発化した感がある。
	□	人材派遣会社（社員）	・取引先企業の採用活動は、急募ではなく良い人材をじっくり探す方針のところが多いため、変わらない。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少により、景気も改善していると思うが、「半導体の部品が海外から納入されず、先行きが不透明」との理由で、求人を控える自動車関係部品加工製造事業所等も多くある。
	▲	—	—
×	*	*	